

令和8年度シラバス（保健体育）

学番4 1 新潟県立栃尾高等学校

教科(科目)	保健体育（体育）	単位数	3単位	年次	1年次
	必履修	必選択	総合選択	自由選択	
使用教科書	大修館書店『現代高等保健体育』（体育理論）				
副教材等					

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①社会の価値創造に寄与できる力を育成します。 ②自分の居場所に主体的に粘り強く関わろうとする態度を育成します。 ③自分と他者の人権を共に尊重する姿勢を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①各教科・科目で習得した知識・技能を、他教科や他分野で活用するなど、教科横断的な教育活動を展開します。 ②地域と連携する活動を教育課程に位置づけ、授業での学びが地域の充実に活かされるような授業を行います。 ③福祉・家庭系列、工業技術系列、ビジネス・情報系列の3系列を設置して、個別最適な学びを軸とした主体的な学習を進め、幅広い進路希望に対応します。 ④選択授業、少人数授業を数多く設定し、個性を生かした主体的な選択や実践的・体験的な学習を重視することで、生徒の適性や理解度に合わせた丁寧でわかりやすい授業を実施します。 ⑤一人ひとりの人権の尊重のもと、発達支持的生徒指導を軸に、みんなが安心して学べる場所にする風土づくりに取り組みます。

2 学習目標

- ・体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
 - （1）運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。
 - （2）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
 - （3）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3 指導の重点

- ・一人一人が目標を持ち、主体的、積極的に運動に取り組む姿勢を育てる。
- ・年間を通じての基礎トレーニングにより、体力の向上を図る。
- ・規律規範を守る。
- ・仲間とともに運動を継続するための取り組み方を工夫し、安全に実践できるようにする。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付け、さらに、各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解し、技能を身につけている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保しようとしている。

5 評価方法

評 価 方 法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・技能の習得状況の観察 ・技能テスト、記録の分析 ・学習カードの記述の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・技能テスト ・学習カードの記述の確認 ・ペアワークやグループワークでの発言や他者へのアドバイス等 取組の観察 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペアワークやグループワークでの発言や取組（他者や仲間への関わり方等）の観察 ・学習カードの記述の分析 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5	オリエンテーション 体づくり運動		・体育授業の流れを理解する。 ・体力を高める運動を行い、 体力の向上を目指す。	1 1 2	授業中の観察 学習カード確認
5 6 7	選択Ⅰ		○陸上競技（走・跳・投） ○器械運動（マット） ○ダンス ○より1つを選択する。	1 4	技術テストの分析 授業中の観察 学習カード確認
	選択Ⅱ		●球技ベースボール型（ソフトボール） ●球技ゴール型（サッカー） ●ダンス ●より1つ選択 （選択Ⅰで選んだ種目とは別の種目）	1 4	技術テストの分析 授業中の観察 学習カード確認
8 9 10	体育理論 陸上競技	教科書	1. スポーツの始まりと変遷、 2. 文化としてのスポーツ、 3. オリンピックとパラリンピックの意義 ・長距離走	3 1 3	プリント提出 学習カードの確認 記録の分析
11 12 1 2 3	選択Ⅲ 選択Ⅳ 選択Ⅴ 体育理論	教科書	◎球技ゴール型（フットサル、バスケットボール） ◎球技ネット型（バレーボール、バドミントン、卓球） ◎武道（柔道、剣道） ◎より1つ選択（Ⅲ～Ⅴはすべて異なる種目を選択） 4. スポーツが経済に及ぼす効果、 5. スポーツの高潔さとドーピング、 6. スポーツと環境を理解	1 5 1 5 1 5 3	技術テストの分析 授業中の観察 学習カード確認 プリント提出 確認テスト

計 105 時間（50 分授業）

7 課題・提出物等

- ・各種目技術テストや記録。
- ・単元ごとに学習カードを提出することとなります。

8 担当者からの一言

- ・出席を重視します。得意、不得意に関わらず、まわりと協力し一生懸命授業に取り組んでほしい。授業を通して、コミュニケーション能力を高め、人間力を高めてもらいたい。そのために、規則・時間を厳守する態度等を大切に授業展開していきます。